

人が駐屯したことから会員にもなじみがあるところ。歩兵第50連隊で編成された（猛4642部隊）の将兵五百人

マダン州「ハンサ富士」 今も活動続けるマナム火山



現地住民の協力で、マダン州ハンサでのご遺骨収集作業

東部ニューギニア方面（マダン・東セピック・ミルベイ・オロ）遺骨収集進む
遠くに見える島は、将兵がハンサ富士、マナム富士と呼んだマナム島

（令和5年9月・東部ニューギニア戦友遺族会 武藤孝行氏撮影）



第35号

令和6年7月1日発行
長野県諫訪郡富士見町落合
発行人 小池博之
印 刷 杏花印刷

県護國神社 「鳴呼戦友の碑」維持管理について 奥谷宮司と本会役員が懇談

護國神社の神域にある「鳴呼戦友の碑」の今後の維持管理について、この程奥谷宮司と本会役員の懇談会が開かれた。この碑はニューギニアで戦死したご英靈の顯彰と慰靈を祈念して、昭和49年に戦友遺族会により建立され、以来本会が維持管理を行ってきた。

懇談会冒頭の挨拶で小池会長は「先の大戦が終結して来年は節目の80年となり、もはや歴史の一ページの出来事となりつた。本会も設立55周年を迎え、戦友の皆様は全て鬼籍に入られ、会員も80歳を越えて、会の存続と、残された課題への取り組みを進めている」と、現状を述べた。

また、慰靈碑のこれまでの経緯について「平成16年に芳名版の設置、平成26年に耐震・改修工事を行った。毎年7月に碑周辺の樹木の伐採、刈込み作業などを実施している」と説明した。

△第56回ニューギニア方面戦没者慰靈大祭 並びに定期総会開催のお知らせ

長野県ニューギニア会は会則により、ニューギニア方面戦没者慰靈大祭と、定期総会を左記の通り開催します。

●慰靈大祭 日時 令和6年7月28日（日）
記
奥谷宮司は挨拶の中で「現在境内には7基の慰靈碑があるが、維持管理会員の皆様のご参加をお待ちしております。

これらの碑の維持管理は厳しい状況となっていると述べた。「鳴呼戦友の碑」については「一の鳥居の正面の目抜きの場所にあるだけに是非とも末長く管理をお願いしたい」と期待を示した。



奥谷宮司との懇談会
(4月16日県護國神社社務所)

後3年くらいは手入れができるが、その後はわからない○基金を出しておらずするか、さら地にして土地を返還する一等の意見が出された。今後はこうした懇談会等を継続している。碑周辺の環境整備は経費もかかり大変悩んでいる。神社としてこれら碑の維持管理は厳しい状況となっていると述べた。「鳴呼戦友の碑」については「一の鳥居の正面の目抜きの場所にあるだけに是非とも末長く管理をお願いしたい」と期待を示した。

宮さんに今後の管理をお願いする○碑を解体縮小するか、さら地にして土地を返還する一等の意見が出された。今後はこうした懇談会等を継続している。碑周辺の環境整備は経費もかかり大変悩んでいる。神社としてこれら碑の維持管理は厳しい状況となっていると述べた。「鳴呼戦友の碑」については「一の鳥居の正面の目抜きの場所にあるだけに是非とも末長く管理をお願いしたい」と期待を示した。

**長野県
護國神社**

春季例大祭厳粛に斎行

来賓・遺族ら一百三十名参集

長野県護國神社の令和6年度例大祭は4月29日・30日の両日、新緑が映える神苑で諸祭儀が厳粛に行なわれた。

コロナ禍が終息に向かっていることから県内各市町村遺族を始め、来賓を含め二百三十名が参列した。



本殿の前庭で奉納された「みたま慰めの舞」

当日祭の30日は午前11時、本殿の御扉が開かれ、海川山野の神饌が献ぜられ、奥谷一文宮司が祝詞を奏上。巫女による「御靈慰めの舞」が神前に奉納された。務台俊介県護

本会と栃木県護國神社が共催し、東京の（株）WBC社が取り扱う「東部ニューギニア慰靈巡拝の旅」は、コロナ禍により中断していたが、本年度から再開され、参加者を募集している。

本年はニューギニア島・アイタペにおいて組織的戦闘が終わり80年になり、5年ぶりに現地慰靈の旅を催行することとなつた。

慰靈の旅は8月24日から7日間ご英靈のゆかり

東部ニューギニア慰靈巡拝の旅・再開 栃木県護國神社と本会が共催 WBC社扱い

本会と栃木県護國神社が共催し、東京の（株）WBC社が取り扱う「東部ニューギニア慰靈巡拝の旅」は、コロナ禍により中断していたが、本年度から再開され、参加者を募集している。

本年はニューギニア島・アイタペにおいて組織的戦闘が終わり80年になり、5年ぶりに現地慰靈の旅を催行することとなつた。

慰靈の旅は8月24日から7日間ご英靈のゆかり

詳しい旅程、旅行条件、申込用紙などは、本紙の4ページをご覧ください。為替レートが円安のため旅費がかなり高額となっていますが、ご賢察頂き申し込みをお願い

当日祭の30日は午前11時、本殿の御扉が開かれ、海川山野の神饌が献ぜられ、奥谷一文宮司が祝詞を奏上。巫女による「御靈慰めの舞」が神前に奉納された。務台俊介県護

本会からは、神社からの招請により、小池会長が玉串を奉り拝礼した。

本会からは、神社からの招請により、小池会長が玉串を奉り拝礼した。

また、大会期間中、神域内では弓道大会、文芸展、諸流いけばな展など奉納催事も開かれ、大祭に彩りを添えた。

本会からは、神社からの招請により、小池会長が玉串を奉り拝礼した。

本会からは、神社からの招請により、小池会長が玉串を奉り拝礼した。



ウエワクのコイキン観音での慰靈祭、
本会から8名が参加(令和元年8月23日)

國神社総代に続き市町村長ら来賓が玉串拝礼を行つた。

DNA鑑定の迅速化図る
厚労省・信州大学医学部が連携

厚労省はこの程海外で収集した戦没者遺骨の身元を特定するため、信州大学医学部との間で、連携に関する協定書を締結した。

戦没者の遺骨は、長期間地中にあつたこと等により、DNAの保存状態が良好でない場合が多く、僅かに残る情報を解析し戦没者を特定するため、高い専門性が求められる。

DNAの抽出や解析が難しい研究に取り組むために、大学内に連携室が設置される。

ブーゲンビル島はニューギニア領で、当会とも所縁がある地域となります。

事しました。活動現場は首都・ホニアラ市周辺の、マ马拉川上流で遺骨の試掘を行い、続いてムカデ高地から二柱のご遺骨が発見されたとの情報

今回調査の鑑定数
前回までに仮安置さ
いたものを含めて五十一
柱。鑑定の結果、古
に送還する検体数は
九十五となりました。

今年度より中信地区代
表幹事を拝命致した天谷
と申します。私はニューギニア会と共にビスマルク・ソロモン諸島で戦つた陸海軍の戦友会「全国ソロモン会」でも活動しております。ラバウルがある

代谷国つ一
プリテン島、五月にはブリ
ゲンビル島へ団員を派遣
しました。
私は本年三月にガダ
ルカナル島で、二週間に
渡り遺骨収集作業に従
事した。この場所は川口支隊
の総攻撃に加わった青葉
大隊（歩兵第四聯隊基幹）
に間違いなく、レレ村で
は五柱を受領し、歩兵第
二百二十八聯隊の深
田中隊が布陣した
付近であることも確

全国ソロモン会員 本会中信代表幹事

バブア・ガ島の遺骨収集に注力

日本遺族会が厚生労働省の補助を受け実施している「戦没者遺児による慰靈友好事業」は、本年度17地区地域に対し参加者を募集している。

○東部ニューギニア
マダン、ウエワク、ボイキン、

○ビスマーク諸島
(令和7年2月3日～)
○西部・特定地区
ジャヤプラ、ソロン、
マノクワリ、ビアク島
(9月18日～27日)
マノクワリ、ハルマヘラ
ジヤヤプラ、ビアク島

三

パプア・ガ島の遺骨収集に注力 全国ソロモン会員 本会中信代表幹事

田中隊が布陣した
付近であることも確

○東部ニユーギニア
マダン、ウエワク、ボイキン、

（令和7年2月3日）

本年度戦没者の遺骨収集事業

相次いで実施へ

東部ニューギニア・ソロモン諸島 インドネシア(西部ニューギニア)

厚生労働省は本年度の戦没者遺骨収集事業計画に基づき、現地に相次いで調査団を派遣している。本会が関係する南方地域に対する現地調査・遺骨送還地域は次の通り

- 東部ニューギニア（東セピック、マダン、オロ、モロベ、サンダウン、ミルベイ州）
- インドネシア（パプア州、モロタイ島）
- ビスマーク・ソロモン諸島（ニューブリテン島、ブーゲンビル島、ガダルカナル島）

調査団派遣は東部ニユーギニア・ソロモン諸島方面は7月から12月。西部ニユーギニア方面は来年2月。また、遣骨の収容と本邦への送還は西部ニユーギニアが8月から年末にかけて東部ニューギニアは来年2月の予定となつてゐる。

インドネシア領である西部ニユーギニア地域では、一月から二月にかけ戦後初めて、トウルク

現地住民の協力で遺骨試掘作業
ガダルカナル島ムカデ高地で

ビントニ県ヤカチ村での
調査を実施。現地住民に
対し残留遺骨に関する情
報の提供を呼びかけた。

エンガ州地滑り災害へ
本会義援金を送る

ニユーギニアのエンガ州で
5月に発生した大規模な地
すべり災害に対し本会は、
日本・パプアニューギニア
協会を通じて義援金を送つ
た。

この地滑り災害は行方不
明者が千人を超えると報道
されており、同国政府が国
際援助を求め、我が国も緊
急援助物資を供与した。



現地住民の協力で遺骨試掘作業
ガダルカナル島ムカデ高地で

エンガ州地滑り災害へ
本会義援金を送る

令和6年東部ニューギニア慰霊巡拝の旅

ご英霊の眠る地を訪ねます

長野県ニューギニア会
栃木縣護國神社

本年はニューギニア島の戦闘が終わり80年になります。

その間 令和2年から新型コロナウイルス禍により海外渡航自粛せざるを得なくなりました。

ご英霊の遺徳を是非次世代へ継承しなければならない課題として、5年ぶりに現地慰霊の旅を計画致しました。

戦後79年が過ぎ、戦後生まれが9割を占める中で、ご遺族の皆様もご高齢化が進み、戦地慰霊巡拝が年々難しくなってまいります。

お一人でも多くのご参加をお願い方ご案内申しあげます。

次	月 日	曜	都市名(発着)	交通機関	時間	摘要	お食事
1	2024年8月24日	土	東京(成田)発 マニラ	航空機 乗り換え18:10/23:20	14:15 7:00 12:20 13:40	フィリピン航空でマニラへ マニラで乗り換え ポートモレスビー到着・朝食 国内線 着後、小休止し慰霊祭準備 夕刻：ウエワク平和公苑で合同慰霊祭(ウエワク泊)	(機中泊) 夕:○ 朝:○ 昼:○ 夕:○
2	8月25日	日	ポートモレスビー着 ウエワク発着	国内線		午前:ウエワク南方面巡拝・慰霊祭(モロネ・モダンガイ) 午後:ウエワク近郊戦跡巡拝(洋展台、コイキン観音) (ウエワク泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
3	8月26日	月	ウエワク	4WD車		午前:ウエワク南方面巡拝・慰霊祭(鶴巻川、八幡山方面) 午後:ウエワク近郊戦跡巡拝(ウォーム岬、松ノ岬、阿部岬) (ウエワク泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
4	8月27日	火	ウエワク	4WD車		終日:ウエワクより西方面戦跡巡拝 (ボイキン、カラワップ、ダグア、ブーツ、ソナム) (ウエワク泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
5	8月28日	水	ウエワク	4WD車		ウエワクよりポートモレスビーへ 着後:ポートモレスビー市内見学、お買い物 (ポートモレスビー泊)	朝:○ 昼:○ 夕:○
6	8月29日	木	ウエワク ポートモレスビー	国内線	12:35 14:45	フリーラン航空でマニラへ マニラで乗り換え 着後:帰国手続き。お疲れ様でした	朝:○ 昼:○ 夕:○
7	8月30日	金	ポートモレスビー マニラ マニラ 東京(成田)	航空機	8:00 11:35 14:30 20:00	午前:ウエワク南方面巡拝・慰霊祭(モロネ・モダンガイ) 午後:ウエワク近郊戦跡巡拝(洋展台、コイキン観音) (ウエワク泊)	朝:○

(1) 期間: 令和6年8月24日(土)～8月30日(金) 7日間

(2) 曜日: 上記日程表通り

(3) 募集人数 15名様

(4) 旅行費用 ¥485,000.- (空港税・燃油サーチャージを含まず)

上記旅行費用は 10名様以上の団体を基準にしたお一人様あたりの経費

*最小催行人数は 10名様を予定しております。

(5) 申込締め切り日: 令和6年7月12日(金)

《旅行についてのお問い合わせ・お申し込み》

WBC ワールドビジネスコミュニケーションズ

〒107-0052 東京都港区赤坂 6-4-15-202

キトリ

令和6年8月東部ニューギニア慰霊巡拝の旅 申込書

令和6年 月 日記入

お名前:	生年月日 昭・平 年 月 日
現住所: 〒	電話:
同伴者名:	続柄:
同伴者住所:(お申込者と異なる場合)	電話:
ご祭神: 命名	所属部隊:
お申込者との関係:	戦没地:
	戦没年月日 年 月 日

大の字に寝て涼しさよ淋しさよ(一茶)いつもの夏より工アコンの出番が早いようですがお元気ですか。今号から紙面の活字が大きくなりましたが読みやすい?だけど字数が3割減になりますので中身が痩せないように頑張ります。★久しぶりに慰霊巡拝や遺骨収集の参加者募集計画です。いまや終戦から80年、戦没者の触れ合いが無かつた年代の方々にお願いすることが多くなりました。筆者が終戦前に戦死した叔父の慰霊に初めて行ったのは20数年昔のこと。お土産の学用品の大荷物を抱えての旅が懐かしい思いが強めです。★会長、関係役員の方々が護國神社の施設の維持管理の将来計画でご苦労されていました。会の運営上の問題もあります。あるので会員皆様方のご支援をよろしくお願ひいたします。★郵便料金が値上げの発表。郵便制度が全国で実施されたのは明治5年からとか。当会も会報のお届けを始め会員の方々との連絡に影響大です。★クーラーの使用を「適切」とテレビ・新聞。気料金との兼ね合いが考えさせられる夏ですがどうぞ上手に乗り越えてください。(竹村)

椰子の実